

英語

東北大学 全学部 (前期) 1/2

<全体分析>

試験時間 100 分

解答形式 記述式と客観式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点 日本語・英語両方の記述力を試すオーソドックスな問題

その他トピックス 問題 I 問 3 で本文の内容をまとめた図表に適切な語句を入れる問題が出題された。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「大学における学び」 (約 1253 語)	<p>評論</p> <p>《出典》Sarah Birrell Ivory, <i>Becoming a Critical Thinker: For Your University Studies and Beyond</i> (大学発表)</p> <p>問 1 下線部和訳 this の指す内容を明らかにして下線部を和訳する。push ... to ~や the extent to which などの訳出がポイント。</p> <p>問 2 下線部説明 下線部の内容を説明した上で、そのように筆者が主張している理由を述べる。</p> <p>問 3 空所補充 文章の内容をまとめた図表の空欄に入る適切な語句を選択する問題。</p> <p>問 4 文法正誤問題 本文中の下線部で文法的な間違いを含むものを 2 つ選ぶ。</p> <p>問 5 語句整序 本文中[]内の単語を並び替えて英文を完成させる。</p> <p>問 6 内容一致 本文の内容から正しいと判断できる英文を選択肢 5 つの中から 2 つ選ぶ。</p>	標準
II	読解総合	「なぜ睡眠をとるのか」 (約 1182 語)	<p>評論</p> <p>《出典》Matthew Walker, <i>Why we sleep: Unlocking the Power of Sleep and Dreams</i> (大学発表)</p> <p>問 1 下線部和訳 this mind-set の内容を明らかにして下線部を日本語に訳す。命令文+and SV の訳出がポイント。</p> <p>問 2 内容説明 下線部の疑問に答える際の根拠として、筆者がどのような具体例をあげているかを 2 つ答える。</p> <p>問 3 文挿入 本文中の空所 3 か所にそれぞれ適切な文を入れる。(選択肢は 3 つ)</p> <p>問 4 下線部意味選択 下線部(2 か所)の意味に最も近いものを選択する。選択肢はそれぞれ 4 つ。</p> <p>問 5 下線部意味選択 本文中の単語の意味に最も近いものを選ぶ。下線の引かれた単語は 4 つ。選択肢は各 4 つ。</p>	標準
III	読解総合	「オーバートーリズム」 (約 650 語)	<p>対話文</p> <p>1) 下線部意味選択 対話文中の下線部の単語と意味が最も近いものを選ぶ。下線は 4 か所で選択肢は各 4 つ。inundated や exasperated など難易度の高い単語に下線が引かれているが、文脈情報を援用することで解答が可能。</p> <p>2) 意見論述 大学の授業で “What can be done to tackle overtourism in Japan?” というトピックについて意見を書くという課題が出たという想定で、自分の意見を英語で論述をする。指定語数は、60～80 語。</p>	標準

英語

東北大学 全学部 (前期) 2/2

IV	英作文		《出典》古田徹也『いつもの言葉を哲学する』(一部改変)(大学発表) 問1 語句整序:下線部の日本語を参考に語句を並び替える。空所が8つに対して選択肢は10個。 問2 和文英訳 下線部を文脈に即して英訳をする。「論破」「間髪入れずに」「…という光景だ」などの処理がポイント。 問3 語句整序 下線部の日本語を参考に語句を並び替える。空所が7つに対して選択肢は10個。	やや難
----	-----	--	---	-----

注:区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

読解問題については、センテンスの意味、文と文のつながり、段落と段落のつながりを意識した読解が必要になってくる。「基本動作」としての和訳の力をしっかりと身につけるとともに、文章の流れを理解して設問の解答につなげるような練習を積むことが必要である。英語による意見論述については、表現したい内容を正確に英文にできる力とともに、論理的な文章展開力が求められる。添削等を通じてスキルアップを図って欲しい。英語表現問題(英訳・語句整序等)については、基本的な構文の知識をおさえつつ、日本語を適切な英語にする際に必要な語彙力を高めていくとよい。また、全ての問題を通じて語彙力や文法知識が重要であるので、継続的に学習を進めていって欲しい。